



くじ市 少年センター だより

久慈市川崎町1-1 社会福祉課 ☎0194-52-2111



久慈市ホームページでご覧頂けます

補導活動は☎スマホで簡単入力！ ☎



令和8年 8月号

＜発行・編集＞
久慈市少年センター

通算 415 号

♡ 7月24日・8月6～8日・21日は、「地域の子どもを育てる愛の一声運動」です

夏休みは、子どもたちにとって楽しい思い出をつくる大切な季節です。一方で、夏祭りや夜のイベントなど外出する機会が増え、事故やトラブルに巻き込まれる危険も高まる時期でもあります。

久慈市少年センターでは、久慈市警察署や少年補導委員の方々と連携し、「地域の子どもを育てる愛の一声運動」を実施します。この活動では、イベント会場周辺を巡回し、子どもたちへ

「こんにちは!」 「楽しんでね。」 「気をつけて帰ってね。」

など、温かい声を掛けながら見守り活動を行います。

「愛の一声」は、子どもたちに地域の大人が見守っているという安心感を与えるだけでなく、犯罪や非行の未然防止にもつながる大切な活動です。

今年は、多くの青少年が集まるイベントを中心に巡回を予定しています。

べっぴん夜市

7月24日(金) 17:00～20:00

8月21日(金) 17:00～20:00

ヤマセあきんど祭り

8月 6日(木) 17:00～20:00

8月 7日(金) 17:00～20:00

8月 8日(土) 15:00～18:00



-- 地域の皆さまへ --

子どもたちは地域全体の宝です。日頃から、登下校や買い物、散歩の際などに、「こんにちは」「暑いから水分をしっかりとってね」「気をつけて帰ってね」そんな何気ない一声が、子どもたちの安心につながります。久慈市少年センターは、これからも地域の皆さまとともに、子どもたちが安全で安心して過ごせるまちづくりを進めてまいります。

🍀 今月のポイント

＊＊「愛の一声」が子どもを守ります＊＊

子どもへの明るいあいさつや声かけは、
地域で見守られているという安心感を育み、不審者への抑止効果も期待されます。
一人ひとりの小さな行動が、安全・安心なまちづくりにつながります。

🍀 巡回時のポイント 笑顔で、明るくあいさつから始めましょう。

- ✓ 子どもだけでなく、保護者や地域の方にも気持ちよく声をかけましょう。
- ✓ 人混みでは、迷子になりそうな小さな子どもや遅い時間までいる子どもに気を配りましょう。
- ✓ スマートフォンに夢中で歩いている子どもや、自転車の運転に注意が向いていない子どもには、安全を意識した声かけをしましょう。
- ✓ 「指導」ではなく「見守り」を意識し、といった点に気を配りましょう。

🍀 声かけの例

- ☺ 「こんにちは!お祭り楽しんでね。」
- ☺ 「暗くなってきたから、気を付けて帰ろうね。」
- ☺ 「自転車や車に気を付けて楽しんでね。」
- ☺ 暑いね。水分をとってね。
- ☺ 「お友達とはぐれないようにね。」
- ☺ 「ゴミは決められた場所へ捨てようね。」



🍀 街頭補導巡回活動報告

令和8年「べっぴん夜市」巡回の少年補導委員さんの報告書から抜粋し、掲載いたします。

👤 6月26日(金) 17時～19時

霧雨模様の中、ユニバースとTSUTAYAを巡回しました。ユニバースは子どもが少なく、TSUTAYAは閉店を控えた店内で高校生約20人がカードゲームやスマートフォンを楽しんでいました。声かけには落ち着いて応じる様子が見られました。

駅前ではキッチンカーが並び、べっぴん夜市の準備が進められていました。カラオケ店では気になる場面もありましたが、あいさつをして巡回を続けました。

その後、銀行前交差点、レトロ広場、土風館周辺を屋台やキッチンカーが並び、人出も増え始め、夜市らしいにぎわいが感じられました。小学生は保護者と、中高生は友人同士で行動しており、特に問題となる様子は見られませんでした。

ヨムノスでは高校生約15人が利用しており、多くはスマートフォンを見ながら過ごしていましたが、声かけにはしっかり応じてくれました。また、屋上では高校生数人が談笑しており、「夜市には行かないの?」と声をかけると、「これから行きます」と明るい返事が返ってきました。開催時間中は、高校生が思い思いに友人と合流しながら夜市を楽しむ様子がうかがえました。



👤 久慈地域生徒指導推進協議会補導部会に参加しました

6月30日、「第1回久慈地域生徒指導推進協議会補導部会」および「第1回久慈地区高等学校生徒健全育成連絡会議」が開催されました。会議では、各校から児童生徒の様子や学校行事の状況が報告されたほか、教育委員会、福祉事務所、警察署などの関係機関から、それぞれの立場で情報共有が行われました。地域全体で子どもたちを見守るため、現状や課題について活発な意見交換が行われ、大変有意義な会議となりました。

会議を通して改めて感じたことは、子どもたちの小さな変化に気付き、寄り添う大人の存在の大切さです。近年はSNSによる人間関係が広がり、子どもたちの悩みや変化が表面化しにくくなっており、そのため、学校や家庭だけでなく、地域で子どもたちを見守る大人の役割は重要になっています。また、高校生をはじめとする上級生は、下級生にとって身近な目標であり、良くも悪くも大きな影響を与える存在です。だからこそ、上級生が地域の中で大人と関わり、社会とのつながりを感じながら成長できる環境づくりが、健全育成につながるものと考えます。

少年センターでは、今後も学校・地域・関係機関との連携を深め、地域ぐるみで子どもたちを見守ってまいります。

📱 補導活動はスマホで簡単入力

～ 巡回後、約1分で報告できます! ～

地域ぐるみの見守り活動を推進するための、スマートフォンで簡単入力できる「補導活動 報告フォーム」で、初めての報告がありました!

少年補導委員4班の 宇部班長からのご報告を紹介します。👉👉👉👉👉👉👉👉👉

「補導活動 報告フォーム」👉からの補導活動の報告が、このように届き、集計も可能です。

自治体既存フォームを活用しながら運用できるので、修正も簡単に持続も可能です。



申込内容	
■ 補導活動 報告フォーム	
1. 日時	2026年06月12日17時00分
2. 場所	川崎ユニバース→三鉄JR久慈駅→ヨムノス→巽山公園→土風館
3. 状況	その他(椅子に座って話をしたり、テーブルで勉強等をしている。)
4. 人数	6人以上
5. 年代	高校生徒 (16歳以上)
6. 様子	落ち着いている
7. 対応	声かけ
8. 詳細	久慈駅前の噴水広場では、椅子に座って話をしているグループがみられたが、ヨムノスの1階では多くの高校生が熱心に勉強していました。巡回中は特に変わったことはありませんでした。